

ディスクシアキーの適用範囲拡大！

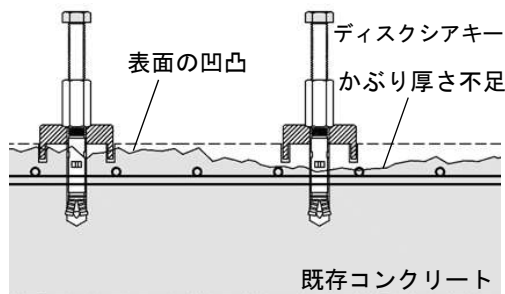
ディスクシアキーに関する技術の適用範囲拡大として新たに

①既存躯体の凹凸面にも対応できる「断面修復工法」を確立。②環境に配慮した「無機系接着剤」が使用可能。になり、広範囲での適用が可能となりました。

①「断面修復工法」

モルタル等の仕上げが施されている建物の耐震補強で仕上げ材を除去した際、既存躯体面に大きな凹凸が生じている場合があります。また、鉄筋のかぶり不足や豆板等が生じている箇所は、ポリマーセメントモルタル等で既存躯体面の補修を行います。今までそのような柱や梁では、ディスクシアキーを使用できませんでした。

しかし今回の「断面修復工法」の確立によりディスクシアキーが適用可能となりました。



ディスクシアキーが施工できなかった状況例

断面修復工法施工状況

断面修復工法施工完了

②「無機系接着剤（セメフォースミルク）」の開発

現行のディスクシアキーでは、有機系接着剤を用いて施工を行っていました。有機系接着剤は、安定した接着強度や施工のし易さから一般的に広く用いられている接着剤ですが、施工環境問題（VOC：揮発性有機化合物）により学校や倉庫等の使いながらの耐震改修に使用できない場合があります。

そこで、施工環境問題のないセメント系の接着剤「無機系接着剤（セメフォースミルク）」が開発されました。



無機系接着剤（セメフォースミルク）



無機系接着剤による施工



ディスクシアキー設計施工指針改定内容の説明会を開催します。

この度、設計者様を対象とした説明会を開催します。

設計施工指針をお持ちの方にはすでに案内を送付しています。

ご案内のない方でも参加可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

※講習は机上のみで施工講習はありません。
※施工代理店様向け説明会は開催済みです。

開催日程

10月18日（木）	東京
10月26日（金）	宮城
11月02日（金）	大阪
11月15日（木）	広島
11月22日（木）	福岡



施工代理店様向け説明会の様子

お問い合わせ

E&CS 株式会社 E&CS
トグル制震事業部
0120-109-686